

令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和5年度草津市教育の重点である「スクールESDくさつ」「New草津型アクティブ・ラーニング」「配慮を要する子どもへの支援」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成するとともに、「魅力のある学校」「誰もが行きたくなる学校」「地域とともにある学校」をつくる。

【学校 目標】

○「スクールESDくさつ」の取組を通して、課題解決に向けた学習に主体的に取り組む授業実践を、教科横断的に進めるとともに、協働的な学びと個別最適な学びを充実させ、コミュニケーション力と実践力のある生徒を育成する。

【現状と課題】

○視点1: 学年相応の語彙力や読み取る力が弱い。筋道を立てて考えをまとめることが苦手で、体験・観察・実験等を通して、協働的な学びにより、思考力・表現力が養われる授業づくりが必要である。

○視点2: 自己肯定感が低い生徒が多い。体験的活動や問題解決型学習を取り入れ、生徒一人一人が達成感を高めることができる学習集団づくりが必要である。

○視点3: 生徒の家庭学習の未定着率、不読率の高さが課題であり、教職員がこれらの課題解決に向けて組織的に取り組む必要がある。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○教員の説明時間を短くし、生徒の思考、活動の時間を十分に取り入れることができるよう、ICT機器を効果的に活用する中で「New草津型アクティブ・ラーニング」に基づく授業を構築し、個別最適な学びを進める。	・学習に関するアンケートの「学校の授業はわかりやすい」の肯定率が80%以上(強い肯定の割合30%以上)		
	・学習に関するアンケートの「自分で課題を決めて調べたり発表したりする授業が好き」の肯定率が80%以上(強い肯定の割合30%以上)		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○体験活動をもとにしたプレゼンテーションや協働的な学びによるグループ学習を実施し、言語活動(英語を含む)を充実させて生徒のコミュニケーション力を育成する ○教員のファシリテーターとしての力量を高める。	・学習に関するアンケートの「考えたことを文字や言葉で表現することが好き」の肯定率が65%以上(強い肯定の割合25%以上)		
	・学習に関するアンケートの「先生や友だちの発表を最後まできちんと聞く」の肯定率が80%以上(強い肯定の割合30%以上)		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○学力向上推進委員会を核として、取組の重点を明確にし、教職員の共通理解のもと、教科部会を通じて、基礎学力の定着および教科横断的な視点の授業改善を共通実践として行う。	・学習に関するアンケートの「平日の家庭学習時間(塾や家庭教師を含む)」で30分以内の回答率が20%以下		
	・学習に関するアンケートの「1か月におおよそ何冊くらいの本を読みますか」の不読率が20%以下		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

・4月職員会議において、学ぶ力向上推進リーダーから「我が校の学ぶ力向上策」について、校内研究主任から「スクールESDくさつ」について説明し、各教科で具体的に取り組む内容について協議をする。また、「我が校の学ぶ力向上策」について、学校HPや学校だよりにおいて発信する。

・定期的に教科部会を開催し、取組についての進捗を確認するとともに情報交流を行う。また、積極的に授業を公開していく。

・「学習に関するアンケート」(生徒対象7月、1月実施)、「学校評価に係るアンケート(生徒・保護者対象12月実施)」、全国学力・学習調査における結果について、その都度分析を行い、改善につなげる。また、学校HPや学校だよりにおいて広く発信する。

今年度の取組の成果と課題

--